第31講　話法

Chapter 1　話法の基本 / 話法の書き換え① 時制の一致
Chapter 2　話法の書き換え② 人称代名詞と指示語
Chapter 3　話法の書き換え③ 副詞
Chapter 4　話法の書き換え④ say ⇒ tell
Chapter 5　話法の書き換え⑤ say ⇒ ask
Chapter 6　話法の書き換え⑥ say ⇒ ask, suggest

Chapter 1　話法の基本 / 話法の書き換え① 時制の一致

話法とは？

say という動詞の発言部分を，“ ～ ”（クォーテーションマーク）を使って直接表すか，“ ～ ” を使わずに表現する，発言内容の表し方のこと。

直接話法と間接話法

① 直接話法：say の発言部分を，“ ～ ” で表す

・I said, “I am interested in movies.”
　私は，「私は映画に興味がある」と言った。

② 間接話法：say の発言部分を，that 節などをもちいて表す

・I said (that) I was interested in movies.
　私は，自分は映画に興味があるのだと言った。

● 直接話法から間接話法への書き換え：時制の一致

［直接話法］　I said, “I am interested in movies.”

⬇

［間接話法］　I said (that) I **was** interested in movies.

☆ 直接話法：発言した時点では現在のことなので，現在形
☆ 間接話法：時制の一致により，過去形にする

■確認問題

＊（　　）内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. ［直接話法］　I said, “I am busy.”
　［間接話法］　I said I (① am　　② was) busy.

2. ［直接話法］　I said, “I have been busy.”
　［間接話法］　I said I (① was　　② had been) busy.

3. ［直接話法］　I said, “I will study hard.”
　［間接話法］　I said I (① would study　　② studied) hard.

復習テスト　第31講　Chapter 1

＊次の英文を直接話法から間接話法に書き換えるとき，空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I said, “I am a student.”
　⇒ I said I (　　　) a student.
　① am　② was　③ were　④ had been

2. I said, “I have been tired.”
　⇒ I said I (　　　) tired.
　① am　② was　③ have been　④ had been

3. I said, “I will become a teacher.”
　⇒ I said I (　　　) a teacher.
　① become　② will become　③ would become　④ became

NOTE

ベーシックレベル英語　第31講　解答

Chapter 1　確認問題

1. ② I said I (**was**) busy.
   私は，忙しいと言った。
2. ② I said I (**had been**) busy.
   私は，忙しかったと言った。
3. ① I said I (**would study**) hard.
   私は，一生懸命勉強するつもりだと言った。

Chapter 2　確認問題

1. She said **(that) she wanted to go back to her house**.
   彼女は，自分の家に戻りたいと言った。
2. He said **(that) he didn’t want that book**.
   彼は，その本はいらないと言った。
3. She said **(that) she liked that song very much**.
   彼女は，その歌がとても好きだと言った。

Chapter 3　確認問題

1. She said **(that) she wanted to read that book then**.
   彼女は，そのときその本を読みたかったのだと言った。
2. He said **(that) he had arrived there the day before**.
   彼は，その前日にそこに到着したのだと言った。
3. He said **(that) he would meet his parents the next day**.
   彼は，その次の日に自分の両親に会うのだと言った。

Chapter 4　確認問題

1. She **told me (that) she had seen my father the day before**.
   彼女は私に，その前日に私の父を見かけたと言った。
2. He **told me not to spend too much money**.
   彼は私に，お金を使いすぎないようにと言った。
3. She **told me to leave there at once**.
   彼女は私に，すぐにそこを離れるように言った。

Chapter 5　確認問題

1. She **asked me what I was doing**.
   彼女は私に，何をしているのかとたずねた。
2. He **asked me whether [if] I wanted to read that book**.
   彼は私に，その本を読みたいかとたずねた。
3. I **asked her whether [if] she would marry me**.
   私は彼女に，私と結婚するつもりかどうかをたずねた。

Chapter 6　確認問題

1. I **suggested to him (that) we (should) go to lunch**.
   私は彼に，昼食に行かないかと提案した。
2. She **asked me to pass her the salt**.
   彼女は私に，塩を取ってくれと頼んだ。
3. He **asked me to have a seat**.
   彼は私に，座るようにと頼んだ。

復習テスト（解答）　第 31 講　Chapter 1

1. ②

I said, "I am a student."　　私は，「私は学生だ」と言った。

⇒ I said I (**was**) a student.　　私は，自分が学生だと言った。

解説：
この文を直接話法から間接話法に書き換える際には，
発言部分を示すクォーテーションマーク内の動詞を，時制の一致により said と同じ時制にする。
よって，am の過去形 was が正解。

2. ④

I said, "I have been tired."　　私は，「ずっと疲れている」と言った。

⇒ I said I (**had been**) tired.　　私は，自分がずっと疲れていると言った。

解説：
時制の一致により，クォーテーションマーク内の現在完了形 have been を過去完了形にした
had been が正解。

3. ③

I said, "I will become a teacher."　　私は，「私は教師になる」と言った。

⇒ I said I (**would become**) a teacher.

私は，自分が教師になると言った。

解説：
クォーテーションマーク内の動詞は will become なので，時制の一致により，
will を過去形の would にし，うしろに動詞の原形を続けた would become が正解。